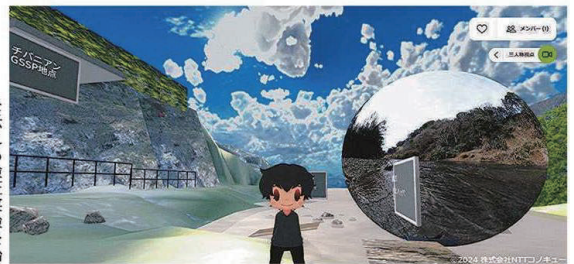


チバニ안의地層を再現 仮想空間で魅力に触れて



メタバースに再現されたチバニアン空間

からだでも利用できる。アバターがメタバース空間内を自由に移動して、現地の地形やビクターセンターなどを見学できる。

検証実験は来年3月まで続ける予定で、メタバースに対する市民の関心度や利用実態などを調べる。市は高齢者や子育て世帯など時間や行動に制約がある人でも、デジタル技術を使って行政サービスを受けやすくする取り組みを進めており、メタバースも役立てたいと考えた。

を伝える検証実験を始めた。

千葉県市原市は千葉商科大、NIT東日本千葉支店と連携し、インターネットのバーチャル（仮想）空間「メタバース」に、市内に残る世界的に珍しいチバニアン



千葉・市原市

の地層を再現し、魅力

市原市田淵には、地磁気の逆転現象が記録された世界でも珍しい地層が残っており、この約77万4千年

約12万9千年前の時代は「チバニアン」（千葉時代）と名付けられている。メタバースを利用すれば、現地に行くことが困難な人でも、チバニアンの魅力に触れることができる。

チバニアンを題材としたメタバース空間は、千葉商科大の鎌田光宣教授（情報工学）とゼミ生が制作。NIT東日本は仮想空間の技術的な支援を担当した。市のホームページのリンク

からだでも利用できる。アバターがメタバース空間内を自由に移動して、現地の地形やビクターセンターなどを見学できる。

検証実験は来年3月まで続ける予定で、メタバースに対する市民の関心度や利用実態などを調べる。市は高齢者や子育て世帯など時間や行動に制約がある人でも、デジタル技術を使って行政サービスを受けやすくする取り組みを進めており、メタバースも役立てたいと考えた。

『東京新聞』2024年5月29日付17面